

企画競争実施の公示

令和6年9月19日

一般社団法人 山陰インバウンド機構

次のとおり、企画提案書を受け付けます。

1. 業務概要

(1) 業務名

令和6年度訪日外国人旅行者周遊促進事業

「欧米豪をターゲットとした山陰の魅力発信プロモーション事業」

(2) 業務内容

別紙「説明書」による

(3) 履行期限

令和7年2月28日（金）

2. 企画競争参加資格要件

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 国、鳥取県、島根県又は鳥取県及び島根県内の市町村において入札参加指名停止措置を受け、企画提案提出日においてその措置の期間が満了していない者でないこと。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は同条第2号に規定する暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者を経営に関与させている者でないこと。
- (4) （一社）山陰インバウンド機構への協力体制及び個人情報保護の体制を構築できる者であること。

3. 手続等

(1) 担当部署

（一社）山陰インバウンド機構

住所：〒683-0043 鳥取県米子市末広町311番地 米子駅前ショッピングセンター4F

E-mail：sanindmo@sanin-dmo.jp

TEL：0859-21-1502 / FAX：0859-21-1524

(2) 企画提案書の作成について

①企画提案書の作成様式及び記載上の留意点

業務の実施方針、手法等を記載した企画提案書（A4判15枚程度）に併せて、次の事項を記載した書面を提出して下さい。

- ・事業の定性的・定量的な目標値
- ・業務の実施体制、実施工程

- ・緊急時の連絡体制
- ・苦情等相談に係る処理体制
- ・配置予定技術者の資格、経歴、手持ち業務の状況（該当する場合）
- ・業務項目別の経費概算
- ・再委託等の有無及び予定（ただし、発注者側の承諾を要するものに限る。）

②その他

- ・上記の2. 企画競争参加資格要件（1）から（4）を満たすことが分かる書類（誓約書等）を企画提案書と一緒に提出すること

(3) 企画提案書の提出期限、場所及び方法

提出期限：令和6年10月1日（火）17時00分（必着）

提出場所：（1）に同じ。

提出方法：メールにより電子データにて提出すること。

(4) ヒアリング実施の有無 無

(5) 契約の相手方として最適なものを特定（以下「特定」という）するための企画提案書の評価基準

- ①業務内容の理解度：調査目的、業務内容について十分に理解していること。
- ②提案内容の優良性：提案内容に具体性、妥当性、実現可能性を伴い、優れていること。
- ③提案内容の独創性：独自の発想に基づく提案内容が含まれていること。
- ④業務遂行の安定性：実施体制、実施スケジュール等の業務環境が、委託業務を安定的に遂行できるものであること。
- ⑤業務成果の中立性：適正公平な業務成果を示すことができること。
- ⑥必要経費：業務内容に見合った適切な経費であること。
- ⑦専門的知識：業務を遂行するために必要十分な専門的知識を有すること。

4. その他

- (1) 手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 契約書作成の要否 要
- (3) 本業務の支払条件及び概算予算額
 - ・支払条件：完了検査終了後、適法な請求書を受理して30日以内。
 - ・概算予算額：7,000,000円を上限とする。（消費税及び地方消費税を含む）
- (4) 企画提案書の作成及び提出に要する費用は、提案者側の負担とする。
- (5) 提出期限までに到着しなかった企画提案書は、いかなる理由があっても特定しないものとする。
- (6) 提出された企画提案書の差替え及び再提出は、原則認めない。
- (7) 提出された企画提案書は、当該提案者に無断で二次的な使用は行わない。
- (8) 提出された企画提案書は、原則返却しない。
- (9) 原則として、本業務の全部を一括して、又は主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。なお、「主たる部分」とは、本業務における総合的企画、業務遂行管理、手法の決定及び技術的判断等をいう。
- (10) 提出された企画提案書に虚偽の記載を行った場合は、当該企画提案書を無効にするとともに、

記載を行った応募者に対して指名停止を行うことがある。

- (11) 特定した提案内容については、（一社）山陰インバウンド機構情報公開規程に基づき、開示する場合がある。
- (12) 提案が特定された者は、企画競争の実施の結果、最適な者として特定したものであるが、（一社）山陰インバウンド機構会計規程に基づく契約手続の完了までは、（一社）山陰インバウンド機構との契約関係を生じるものではない。
- (13) 提出期限までに成果物を提出する見込みがないことが明らかな場合は、契約の全部又は一部を解除する。
- (14) 企画競争の結果は、原則として企画提案書の提出期限の翌日から14日以内に、企画提案者に対して書面で通知するとともに、（一社）山陰インバウンド機構ホームページで次の事項を公表する。
 - ・ 特定した企画提案書を提出した者の名称、住所、代表者氏名及び決定日
 - ・ 企画提案者ごと、評価項目ごとの評価得点及び合計点
- (15) 契約履行過程で生じた成果物の著作権は（一社）山陰インバウンド機構に帰属する。
- (16) 不明な点等の問い合わせ先等
 - ・ 問い合わせ先：3.（1）に同じ（担当：榎原）
 - ・ 問い合わせ方法：電話又は電子メール
 - ・ 問い合わせ期間：公示の日から、令和6年9月27日（金）17時までなお、評価基準の配点は、質問の対象外とする。

説 明 書

1. 業務名

令和6年度訪日外国人旅行者周遊促進事業
「欧米豪をターゲットとした山陰の魅力発信プロモーション事業」

2. 実施時期

契約締結の日～令和7年2月28日

3. 業務の目的

当機構は、日本の歴史や文化、伝統芸能等に深い理解や関心を示す旅行者層が多い欧米豪を主なターゲットに、首都圏在住の外国人や海外メディア関係者へ山陰地域の魅力を情報発信し、山陰への誘客促進や山陰との継続的な関係構築を目指すネットワーキングイベントを東京都内で毎年開催している。

今年度はネットワーキングイベントをより効果的かつ充実したものとすべく、ネットワーキングイベントで掲げるメインテーマを深掘りするFAMツアーを事前に実施し、より深い山陰の魅力の情報発信や関係者間のネットワーク強化を図り、山陰への誘客促進を目指す。

なお、今年度は来秋のNHK朝ドラの主人公に小泉八雲の妻・小泉セツ氏が取り上げられることを踏まえ、小泉八雲と彼が魅了された日本の面影が残る山陰の文化や歴史、人々の暮らしに根づく精神性をメインテーマとし、事業全体を企画・調整する。

4. 業務の内容

(1) 山陰への招請ツアーの実施

「小泉八雲」を軸に、山陰の魅力を伝える招請ツアーを企画・調整・実施すること。

・参加者：日本在住の外国人5人以上

※ツアー参加者はネットワークイベントに必ず参加すること。また、ツアー参加者の中からネットワーキングイベントでツアーの振り返りを発表する代表者を選定すること。なお、事業全体のターゲット層を鑑み、欧米豪をはじめとする国籍の参加者を中心に想定している。

・日 程：令和6年11月中(予定)

3泊4日程度

・行 程：(別紙1)を参考に、「小泉八雲」を軸に山陰の魅力を訴求する行程を企画・調整すること。

・備 考：随行者には英語対応可能な人員を確保すること。

招請ツアーの企画においては、小泉八雲記念館 小泉凡館長や当機構及び当機構が委嘱する山陰インバウンドアドバイザーをはじめとする、関係有識者の助言を取り入れるよう努めること。

(2) ネットワーキングイベントの開催

上記招請ツアーの内容共有、メディア関係者をはじめとする首都圏在住外国人への山陰地域の情報発信及び山陰側関係者との関係性構築を目的に、ネットワーキングイベントを開催すること。招請ツアーの内容共有等を行うステージプログラムと、飲食を伴い参加者間でのネットワーキングを図る交流会の2部構成を想定している。

・参加者：100名以上(日本人関係者を除く)

小泉八雲記念館 小泉凡館長

- ・日 程：令和7年2月3日(月)～6日(木)のうち、1日
夕方から夜間にかけて3時間程度での開催を想定
- ・会 場：東京都区内の候補会場を具体的に提案すること。（提案は2案まで可能）
ステージプログラムを行う会場と交流会を行う会場は分けること。ただし、参加者の移動に負担が生じないように、同一施設内もしくは近接した施設とすること。
事業のメインテーマやターゲット層への訴求を高めるアイデアや工夫があれば提案すること。
- ・飲 食：交流会においては、山陰地域の食材や飲料も含むメニューを提供し、飲食でも山陰地域の魅力や情報を訴求するよう努めること。
- ・備 考：イベント全体の進行は英語を主とし、最低限の要旨を日本語でもアナウンスすること。司会進行は山陰インバウンドアドバイザーをはじめとする関係者が行う想定。
イベントの集客については事業のターゲット層や趣旨を十分に理解し、当機構や山陰インバウンドアドバイザー等関係者と協働して行うこと。
イベント全体の円滑な運営や参加者間のコミュニケーションの促進のため、当日は英語対応や通訳補助が可能な人員を3名以上確保すること。

5. 目標と成果の指標

【アウトプット】

招請ツアー参加者数 5人

ネットワーキングイベント参加者数：100名以上（日本人関係者を除く）

【アウトカム】

山陰の情報を各種媒体により発信する人数：33人以上

参加者による情報発信記事へのリーチ数：33,000リーチ以上

6. 成果物の提出等

(1) 成果物

- ・事業実施報告書（A4版） 1部（紙媒体）、及びその電子データ
- ・本事業で作成したチラシ等の実物及びその電子データ

(2) 提出場所

一般社団法人山陰インバウンド機構

(3) 提出期限

令和7年2月28日（金）

なお、作成にあたっては、以下について留意すること

- ①事前に監督職員の承認を受けること
- ②事業実施状況等をわかり易く編集すること
- ③事業実施による効果を調査し、取りまとめること

7. その他

- (1) 一般社団法人山陰インバウンド機構と十分協議しながら事業を進めること
- (2) 事業の実施にあたっては、「Japan. Endless Discovery.」や「DISCOVER ANOTHER JAPAN」

のロゴマーク等を使用する等、国及び当機構の進める事業であることが分かるよう表示すること